

saveMLAK  
ニュースレター

第22号

## 新年のご挨拶

遅めの挨拶で恐縮ですが、2014年が始まりました。

2011年3月11日に発生した東日本大震災から3年目、新潟県中越地震から10年目、阪神・淡路大震災から19年目、関東大震災から91年目を迎えることとなります。そして、saveMLAKが取り組む自然災害ではないにせよ、人類史上未曾有の被害を出した第一次世界大戦の開戦から100年目を迎えます。

あえて、過去100年の大きな惨禍を記したのは、この100年という思いのほか短い期間をふりかえっても、私たちの日常は誰もがけっして望みはしない出来事に囲まれていることを訴えたいからです

東日本大震災に話を絞ると、この2014年は震災の発生から3年目を迎えます。震災の風化を指摘する声がありますが、確かに、私自身の中でも、あの日の経験、そしてその後に体験し、目撃した惨禍をめぐる記憶が薄れつつあることは事実です。

もちろん、人は忘れる動物であり、忘れることによって歩みを進められることもあります。ですから、忘れてしまうこと自体は、私はやむをえないことだと思います。しかし、ここで一つだけ聞きたいと思います。忘れることが問題ではなく、何を忘れるかが問題なのではないでしょうか。引き続き原発問題もあり、もはや私たちの世界において、あの震災をすべて忘れ去ることは不可能です。すべてを忘れてしまうのではなく、「きっと覚えている何か」「きっと忘れない何か」があるはず。この1年をその「何か」を見つめる1年にしたいと私自身は思います。そして、志を同じくして、このsaveMLAKの活動にそれぞれの立場で関与・関心を持つ方々にも、自分の中の「何か」を見つめてほしいと願っています。

なお、saveMLAKは、特に活動期間に定めのない活動です。また、いままでどおり、私はあくまで便宜的なプロジェクトリーダーです。saveMLAKは一種の乗り物であり、それをどう乗りこなすかは皆さんお一人おひとりの自由です。いままで関わってきたという方々はもちろん、むしろ、これから関わっていききたいという方々にも、saveMLAKは常に開かれています。

毎月開催し、すでに開催34回を数える恒例のsaveMLAK MeetUpも引き続き開催されていくことでしょう。もし、あなたにその気が少しでもあるなら、まずはこの場にお顔を出していただければ幸いです。

2014年1月22日

岡本真 (saveMLAKプロジェクトリーダー)

## 朝日小学生新聞にsaveMLAKメソッドの実施写真が掲載されました

12月18日付の「朝日小学生新聞」に、エル・ライブラリーで「saveMLAKメソッド」を実践中の写真が掲載されました。「大阪市にある図書館」とだけ紹介されて、エル・ライブラリーの名前がないのは残念ですが、ドラえもん相手に真面目に救助活動する様子が記者さんの心をつかんだのか、「ぜひこの写真を使わせて」という依頼がありました。

この記事は大人が読んでもためになる、情報豊富なものです。図書館での防災を考える上で必読記事といっても過言ではないでしょう。

9月28日に専門図書館関西地区協議会主催で開催された震災訓練プログラムの様子は当ニュースレター第19号 (2013年9月号) に掲載しています。

【谷合 佳代子 (写真提供含)】



## saveMLAK統計 2013年12月現在

MLアカウント数	287 (-1)
総ユニーク Wiki 編集者 アカウント数	448 (+9)
Wiki 編集回数の総計	144,697 (+282)
総 Wiki ページ数	29,421 (+67)
総 Wiki 施設ページ数	25,672 (±0)

## 12月の出来事と今後の予定

2013年12月18日

メディア掲載情報

朝日小学生新聞1面においてsaveMLAK及び  
災害訓練用saveMLAKメソッドを紹介

2013年12月23日

第33回saveMLAK MeetUp開催

2014年 1月14日

第34回saveMLAK MeetUp開催

2014年 2月17日

第35回saveMLAK MeetUp開催

## 編集後記

2014年になって初めてのニュースレターを無事に発行することができました。この場をお借りして、今年もsaveMLAK、saveMLAKメソッド、このニュースレター共々よろしくお願い申し上げます。

年末年始の間に、震災後の図書館やアーカイブに関する書籍が相次いで発売になり、担当も勉強ついでに数冊購入して読んでいます。今年で3年という節目を迎え、当時の記録を保存するだけでなく、どう今後に生かすのか（教訓や防災計画など）、という部分においても重要になる1年になればと願っています。

【今号担当：富澤 美典】

編集発行: saveMLAK プロジェクト

発行日: 2014年 1月 24日 (第22号)

発行所: 神奈川県横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 2F

さくら Works <関内>

アカデミック・リソース・ガイド株式会社内

saveMLAK プロジェクト

E-mail: [pr@savemlak.jp](mailto:pr@savemlak.jp)

URL: <http://savemlak.jp/>



記者の心を掴んだ写真がこちら

## saveMLAK会計 2013年12月期収支

12月末現在

### <収入>

計	0
---	---

### <支出>

広報費	11,130	総合展備品
広報費	52,500	総合展フォーラム中継・録画
支払手数料	315	振込手数料
計	63,945	

### 12月末現在 残高

1,437,471円 (11月比-63,945円)

【ファンド係：赤塚 昌俊】



saveMLAKニュースレターはクリエイティブ・コモンズライセンスにより提供、配布しています。  
複写・配布等、自由にしていただいて構いません。